



～何が「正しいのか」を問うために～

- **歴史と記憶をいかす。**（朝日新聞 論壇時評 より）
「ホスト・トルース」。現代社会には、客観的事実は後回しにして、個人の感情や信条にアピールしようとする傾向がある。しかし、歴史にヒトや教訓を求め「現在化」するのは、単純な類推を疑問視し、現在の視点を問い直すためではない。反ユダヤ主義を特別視するあまりイスラエルへの批判を封殺しているのではないかと叫ぶトイ。大統領が自らの歴史正当性を本気で信じ、保守的歴史家の書を読み漁り、自らの歴史観をひたすら追求するトイ…。歴史は暴力による記憶の消去に対し現在を問い直すための大切な資源である。その視点が入試小論文でも問われる。日々のニュースに向き合う中で感覚を磨こう。

- **オープンキャンパス**（「大学通信」から引用）

（主なプログラム）

1. **大学概要説明**・・・建学の精神・大学の特徴が説明される。
2. **入試説明**・・・入試方式・求める学生像・アドミッションポリシーを解説してもらえる。
3. **模擬授業**・・・大学の学びが分かる。志望学部を決める手がかりとなる。
進行形の問題に対する研究成果を交え、先端の「知」を紹介してもらえる。
4. **個別相談**・・・どの入試方式がよいか、奨学金は、卒業後の進路は？？
気になることは何でも相談できる。
5. その他・・・**キャンパス見学ツアー**・**学食体験**・**入試対策講座**など
保護者もできるなら参加したい。学費・奨学金制度・就職状況などの内容は知っておきたい情報だ。生徒をよく知っているからこそミスマッチをなくすアドバイスができる。
事前申込をする大学が多く、「定員あり・先着順」の所もあるので注意しよう。

- **ふくいオープンキャンパス2024**（7,8月分）（FAAのチラシより）

- 福井大学（8/7松岡C、8/8文京C）
- 福井県立大学（8/4）
- 敦賀市立看護大学（7/28）
- 福井工業大学（7/20, 8/4, 8/24）
- 仁愛大学（7/13, 8/3）
- 福井医療大学（7/20, 8/10）
- 仁愛女子短期大学（7/13, 8/4）

- **必須チェックポイント**

入試日程・選考方法 取得資格・免許 学費・奨学金制度 キャンパスライフ
授業・カリキュラム内容 卒業後の進路 留学・研修制度

- **福井大学・福井県立大学 高校訪問説明会**（予定）

受験人口減や社会的ニーズの変化に伴い、全国の大学で学部・学科再編の動きが盛んです。県内でも、福井県立大学が25年度（R7年度）から恐竜学部（仮称）、26年度から地域政策学部（仮称）を新設することのことで、話題になっています。

今年も見出しの説明会が本校で予定されています。受験希望の生徒や興味のある生徒は参加しましょう。

（実施学科、対象学年等の詳細は別途案内。）

- **福井大学**・・・7 / 1（月）
- **福井県立大学**・・・7 / 23（火）

● 令和 7 年度大学入学共通テスト関連（朝日新聞より）

月経で欠席「入試で不利にならないように」

文科省、大学に初の通知

文科省は毎年、各大学が行う入試の最低限の要件を調たさないで、元「ル」大学入学者選抜要項を初め、配慮を求めている。文科省は、この中で、これまで「月経の不調による欠席」も選考材料にはならないように求めている。文科省は、この通知の中で、月経の不調による欠席を認め、配慮を求めている。文科省は、この通知の中で、月経の不調による欠席を認め、配慮を求めている。

2025 年度の共通テストの本試験は 25 年 1/18, 19、追試験が 1/25, 26 に実施となる。間隔は、コロナ感染拡大期間の 2 週間からそれまでの 1 週間に戻る形だ。受験生は体調を整え、ぜひ本試を受験し、次に進みたい。

左は文科省による通知についての記事。文科省はこれまで原則、健康状況を選抜の材料としないように求めていたが、今回は月経症状やコロナウイルス後遺症を例示して配慮を求めた。

● 作業から「学習」へ（1 年進路講演会 ベネッセ資料より）

1 年生が 6 月の進路講演会で聴いた有意義なことを全体に共有する。

○ 解答する → 解けなかった → 答えを見て分かる・分からない …ここまでは**作業**

○ プロセスを理解する → 解き直す → **理解を確かめる** …ここまでは**学習**

24.3 卒の先輩方の模試データによれば、6 月 M から共通テスト（自己採点）で総点で 100 点以上上昇した生徒が 20 名程、下降した生徒も同程度だ。変化の開きは 300 点ほどになる。この差を起こすのが「学習」の積み重ねの有無である。部活でも勉強でも怖いのは、「ただやってしまう」ことだ。自分が何をしているのかを意識して行動しよう。その姿勢があれば、つらい中でも前向きに取り組むことができる。

● 「GTZ」（学力到達率）と「合格ライン」について（ベネッセ資料より）

経済・法学系統

大学	学部	一般		推薦		総合	
		'23	'22	'23	'22	'23	'22
新潟大	法	B1	B1	B2	B2		
新潟大	経済科学	B1	B1	B3	B3	C1	C1
富山大	経済	B2	B2	C1	C1	C1	B3
信州大	経法	B2	B2	B2	B2		
岐阜大	社会シス	B2	B2	B2	B2		
滋賀大	経済	B1	B1	B2	B3	C1	C2
長野大	企業情報	B3	C1	C2	C1	C1	C2
福井県立大	経済	B3	B3	C1	C1		
長野県立大	グローバ	B3	B3	C1	C1	C1	C1
高岡法大	法	C1	C2	D2	D2	D3	D3
金沢星稜大	経済	B3	B3	C2	C2	C3	C2
金沢学院大	経済	C1	C1	D1	C3	D3	D2
金沢学院大	経済情報	C2	C2	D1	D1	D2	D3
北陸大	経済経営	C2	C2	D1	D1	D2	D1
福井工大	経営情報	B3	C1	C2	C2	D3	D2

志望校に合格するために、県模試でどれくらいの成績を取ればいいのか、その指標となるのが「GTZ」と「合格ライン」だ。

「合格ライン」には前年度入試で合格した先輩たちの模試の平均値が掲載されている。全国 50 万人の受験生のデータだ。1 人 1 冊ずつ配付される。

3 年生用は 6 月 M から共テ本番までの各回、1, 2 年生用は 1 年 7 月から 3 年 4 月までの各回の目標点が設定されていて分かりやすい。

模試受験前の目標設定や受験後の成績分析の際に、これ以上役立つデータはない。どの教科・分野を補強するか、毎回、意識して模試を受験しよう。

● どうなる 2025 年度入試」（「大学通信」より）

2024 年度入試は一言で言えば「第一志望を諦めなかった入試」。システムの切り替わる前年は強い安定志向が働くものだが、業界の当初の予想を覆し、志望を変えずに受験した生徒が多かった。

25 年度入試は新課程対応入試の初年度に当たる。過去問のない現役生に対して、経過措置もあり、4 年分の蓄積のある浪人生にやや有利な状況だ。現役生はできるだけ早く受験生である意識を持つべきだ得点。新科目「情報」が 1 万人未満でも得点調整の対象となるなどいくつか変更がある点でも注目される。「情報」の実施可能性は高いか。

理工系女子枠は 25 年度も広がりを見せる。今秋「東京科学大」となる東京工業大は全学院の総合型・学校推薦型に女子枠を拡大。千葉大、神戸大、長崎大でも新設される。26 年度は京都大、大阪大が予定。私大は年内入試の比率が高まる。新課程がそもそも目指す学びを評価する入試であり、この傾向は今後もさらに続くと予想される。年内に合格を決める生徒と年明け後も勉強を続け一般選抜に挑戦する生徒の二分化はさらに進むが、自分の適性や学力の特徴を見定め、冷静に考え対処しよう。